

特別な場所が、そこにあり続けるために。



富士屋ホテル・溝田正憲 総支配人

## クラシックホテルのパイオニア、富士屋ホテル。鹿島による耐震改修工事が完了しました。

約140年前、東海道の難所と言われた箱根山中の藁ぶき屋根が連なる温泉街に、忽然と現れた洋館。外国人向けに誕生した富士屋ホテルは、箱根を近代的な一大観光地に発展させる先駆となる。歴史に名を残す国内外の著名人たちが、宿泊者名簿にそっと連なっていく。箱根の思い出が、日本の思い出となり、世界中の人々の心に積み重なっていく。明治、大正、昭和、平成、そして令和へ。これからもこの場所で、変わらず時を紡ぎつづけるために。富士屋ホテルは、生まれ変わった。新しい安全や安心を満たす耐震プロジェクト。その

大役を担ったのが鹿島である。「老朽化した施設を刷新するだけではなく、富士屋ホテルが有する歴史やドラマを生かし、再現したかったのです。」と、富士屋ホテル・溝田正憲総支配人は語る。鹿島の仕事は建物の耐震だけではなく、箱根の歴史を描るぎのないものにすることだ。箱根の急峻な地形の中に立ち並ぶ、富士屋ホテルの多様な建築群。長い年月の中で増築や改修を重ね、複雑に入り組む建物の詳細を残した図面はない。4年以上に及ぶ地道な現地調査を経て、2018年4月着工に至った。100年前の木の梁や柱ができる限り

自然のまま使用され、当時の卓越した職人技によって組み上げられた木造建築。洋風の意匠と唐破風の玄関を組み合わせた独特の外観と、随所に彫刻や装飾がこだわり抜かれた内装。これらを保全し、補強していく。本館、西洋館、食堂棟、花御殿、フォレスト・ウイング。元の姿を守りながら、今日の時代に必要なカスケード・ウイングを新築。2年にわたる工事を乗り越えて、2020年7月15日グランドオープンを迎えた。これからも、富士屋ホテルはここにある。何世代にもわたる人々とともに。尽きることのない源泉のように、箱根の物語はつづいていく。

100年をつくる会社  
**in 鹿島**



工事の詳細をご覧ください